

設立趣意書

「もの」から「こころ」へと市民の価値観、基準が変わってきており、週休2日制の定着も加わり、余暇時間の過ごし方というものが大変重要な意味を持ってきている。こうしたなかで、「ゆとり」、「うるおい」など、より豊かで充実した生活を求める傾向として文化への関心が高まっている。「才能のある人はたくさんいるが、発表の場がない」とよくいわれる。また、文化にふれる場所、機会がないことも多く指摘されているところである。

このように市民の文化に対する要望は多様化、高度化し、この傾向は今後一層高まるものと予測される。市民が自分の住む地域の文化を考え自ら実践し、個性あるまちづくりを進めることは、その地域の文化振興と深くかかわっており、まさに、まちづくりは地域文化の創造であるといえる。

今後、文化にふれる機会、参加する機会等の拡充のため、文化施設の整備による文化の環境づくりとともに、音楽、演劇、映画など様々な分野における文化活動を進めていき、個性的な山口市の文化の創造、発信を図ることが必要である。

そのためには幅広い市民参加を促すとともに、その推進体制の整備が必要である。日々刻々と変化する社会に柔軟、迅速に対応できる推進母体として、山口市における文化の振興を図るための事業を行うとともに、市民の自主的かつ創造的な文化活動を支援促進することで個性豊かな地域社会の形成と市民生活の向上を図るため、財団法人山口市文化振興財団を設立しようとするものである。